

# 自ら考え、行動する力を養う

キャリアデザインセンタ―では、川崎市と連携して市内のNPO法人や商店街、企業などから提示された課題を学生らしい感性で解決する長期のインターンシップを実施している。2011年度は、昨年に続いての依頼「花とステンドグラスのある街」をテーマとした商店街のマーケティング(川崎銀柳街商業協同組合)、「音楽で盛り上げるお祭り」(梶が谷駅前通り振興会)などのほか、新規で「藤子・F・不二雄ミュージアム」に関するイベントの企画・運営(多摩区役所)、「北部市場発」(多摩川夕涼みコンサートの企画運営)(NPO法人・多摩川エコミュージアム)に参加し、今年4月26日、受け入れ先は受け入れ先側の実行委員長を務める丸山雄也さん(ネット情報3)は、「さまざまな世代の方々と接することで、コミュニケーション力がついたと感じています。昨年決まったキャラクターを普及させ、『エコ』に関する意識を高めると同時に楽しいコンサートにしたいと思っていますので、多くの専大生と一緒に取り組んでほしい」と話している。



▲ 募集説明会には約300人の学生が参加

## 課題解決型インターンシップ説明会に300人



「アイスブレーキング・グループワーク」の様子

## 良きキャンパス ライフへのヒント

### 2011新入生歓迎セミナー



▲ 笑顔の参加者たち

新入生が先輩学生や教職員と合宿を行う学生部(阿藤正道学生部長)の「2011新入生歓迎セミナー」が4月30日から2日間、伊勢原セミナーハウスで33人が参加して開催された。

初日は「アイスブレーキング・グループワーク」で肩の力をほぐし、新入生3日間スピーチのあと先輩の経験談を聞き質疑応答が行われた。

2日目は、伊勢原体育施設見学、卓球大会、左竹弘靖学生部次長の「箱根駅伝」の講演を聴いたあと、同セミナーハウス近隣の施設でイチゴ狩りを行い、親交を深めた。

参加した加藤千香子さん(ネット情報1)は「先輩の話がとてもためになりました。学生生活に生かしていこうと思います」と話した。

### 新入生14人、活躍する先輩学生と合宿

## 囲碁部OB2人が関西棋院プロに

王景弘さん(平23商) 囲碁部OBで関東学生囲碁団体戦(一部)の4季連続優勝の原動力となった王景弘さん(平23商)と大熊悠人さんの2人が、関西棋院が実施する研修棋士制度の試験に合格し、プロ棋士となった。

同制度は競技人口の拡大と人材育成を目的に受験年齢の制限を従来よりも拡大したもので、試験は四段以下の棋士と2局、審査役(同院棋士九段)と1局対戦し、2勝で合格となる。王さんは4月に、大熊さんは昨年11月に試験を突破した。大熊さんは第46回全日本学生囲碁十傑戦で準優勝するなど学生囲碁界で結果を残し、1月から初段として活動している。「囲碁は人生で一番大切なこと。囲碁と出合ったことで人生が充実していますので、その楽しさを伝えていきたいです。また、プロである以上、勝たなければならぬと思っていますので、今以上に精進します」と語った。

## 楽しさ伝え、勝つために精進も

第53回全日本学生本因坊3位で、父、姉もプロ棋士として活躍している王さんは「大学入学前一度はプロ棋士の道をあきらめました。今回がラストチャンスだと考えて受験しました。プロになることができうれしいです。今後は競技の普及に尽力するだけでなく、一局でも多く勝てるように頑張ります」と話した。

## 第6回朝日アマチュア囲碁名人戦 千葉県大会優勝

渡辺達也さん(法3部) 第6回朝日アマチュア学院大学で行われ、専大1部が変わり、ベストな布

囲碁名人戦(朝日新聞)で4勝3敗で4位だった。鈴木達也代表(健闘したと思います)が、健闘したと思いますが、悔しいです」と話した。

## 漫画研究同好会



## ようこそ専大へ

2011年新入留学生歓迎会&オリエンテーションが4月23日、生田キャンパスで開催された。本年度入学した留学生は学部72人、大学院21人。東日本大震災の影響で来日が遅れている留学生もいるが、国際交流会のメンバー、教職員などあわ

## 生田キャンパスでオリエンテーション

韓国李相愨さん(経済1)は「韓国の大学に入学したが、本当にやりたいことはなにかを考え、韓国の大学を退学して日本に留学しました。とにかく勉強をしたい。授業を最優先にする生活を送りたいと思っています」と抱負を語った。

## 2011年度高大連携 開講式とガイダンスを開催



開講式は生田キャンパスで行われ、砂原由和(ネットワーク情報学部教授)のあいさつに続き、同副座長の寺尾格(経済学部教授)から授業に関する諸注意があり、聴講生3人が自己紹介を兼ねて抱負を述べた。